

平成18年度の市内河川魚類生息状況調査結果

水域名 地点名 魚種		神崎川		淀川		寝屋川			大阪市内河川										大和川	総 個 体 数	出 現 地 点 数		
		神崎川 上流	神崎川 下流	淀川 上流	淀川 下流	寝屋川	第二寝屋川	平野川	平野川 分水路	大川	堂島川	土佐堀川	安治川 上流	安治川 河口	道頓堀川	尻無川 上流	尻無川 河口	木津川 上流	木津川 河口			大和川	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18			19	
純 淡 水 魚	コイ科	コイ				1	1		2											5	9	4	
		フナ属*	1	3			4	4	6	7	7	2	4	2		3				74	117	12	
		ハス									1											1	1
		オイカワ	21							7	7	3				1				96	135	6	
		モツゴ	1					2	22	15										47	87	5	
		カワヒガイ	1									2										3	2
		タモロコ								1										6	7	2	
		カマツカ	6		1						5									15	27	4	
		コウライニゴイ					1						2									3	2
		ニゴイ属**	3								6	1	2							2	14	5	
		コウライモロコ	23								42					9						74	3
		コイ科**																		3	3	1	
		ナマズ科	ナマズ	1																		1	1
	カダヤシ科	カダヤシ				3	63	104	436			1									607	5	
	メダカ科	メダカ																	2	2	1		
	サンフィッシュ科	ブルーギル	31		71								1		2				16	121	5		
		ブラックバス(オオクチバス)	33		30											5				2	70	4	
回 遊 魚	ウナギ科	ウナギ				14													1	15	2		
	キュウリウオ科	ワカサギ													1						1	1	
	アユ科	アユ	3			10															13	2	
	ハゼ科	ゴクラクハゼ																		1	1	1	
トウヨシノボリ																			2	2	1		
ヌマチチブ						2													1	3	2		
汽 水 海 魚	ニシン科	サツパ		1										1			9				11	3	
		コノシロ		2																	2	1	
	カタクチイワシ科	カタクチイワシ																	21	21	1		
	コチ科	コチ属*				1															1	1	
	スズキ科	スズキ	16	50		145					2	7	11	23	11		30	2	10	53	1	361	13
	シマイサキ科	コトヒキ													1							1	1
	タイ科	クロダイ																		2	2	1	
		キチヌ		9		66									1			1				77	4
	ボラ科	ボラ	3	9		207	1	1	1	8	1	7	13	103		239	82	1	157	24	135	992	17
		セスジボラ				12								2								14	2
		メナダ		3		11								2	2		3					21	5
	ハゼ科	ウロハゼ				3																3	1
		マハゼ	1	7		689					2	8	2	3	11	18	8	2	1	24	36	812	14
アシシロハゼ					1																1	1	
ヒメハゼ					10								1	1		2		1			15	5	
カレイ科	イシガレイ				1										2						3	2	
	マコガレイ													5							5	1	
フグ科	シマフグ													1							1	1	
不明	ハゼ科**				1																1	1	
地点別総個体数		144	84	102	1,173	10	71	133	476	75	28	35	137	36	278	125	15	169	124	445	3,660		
地点別出現種数		14	8	3	14	5	5	4	7	10	6	6	8	10	8	5	5	4	5	17		39	

*: フナ属、ニゴイ属、コイ科、コチ属、ハゼ科は種の確定が困難。フナ属はゲンゴロウブナ、ギンブナのいずれかと考えられる。ニゴイ属は、ニゴイ、コウライニゴイのいずれかと考えられる。コイ科は、今回出現したコイ科の種の稚魚である可能性が高い。コチ属はマゴチ、ヨシノゴチのいずれかと考えられる。

#: ニゴイ属とコウライニゴイが同時に出現した場合、ニゴイ属は地点別出現種数にカウントしなかった。これはニゴイ属はコウライニゴイである可能性があるため、重複してカウントするのを避けるためである。同様に、コイ科と他のコイ科の種が同時に出現した場合、コイ科は地点別出現種数にカウントしなかった。ハゼ科と他のハゼ科の種が同時に出現した場合、ハゼ科は地点別出現種数にカウントしなかった。